

Weekly コラム

令和 5 年 1 月 10 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

Z 世代

1990 年代中盤以降に生まれ、2022 年現在で概ね 10 代前半から 25 歳位までの若者を「Z 世代」と呼びます。Z 世代は 2022 年時点で世界人口の約 3 分の 1 を占めており、その数は「ミレニアル世代」を上回ります。そのため、今後は「消費者」として経済を動かす主役になると考えられており、世界中から注目を集めている存在です。

新卒社員の面接はこれまで「企業が候補者を選ぶ」という構図が強い傾向にありました。しかし近年は、「お互いに認識を摺り合わせる、フラットな場」へと変化しています。入社後にギャップを感じての、早期退職リスクを下げる為に、あえて自社の弱みや、制度が整っていない部分を話す企業も増えている様です。

さて、Z 世代の若者は成長過程において、リーマンショック(2008 年)や東日本大震災(2011 年)などからの不安定な経済状況を経験しています。そのため、お金で買える「モノ」よりも、イベントやライブや体験への参加など「コト」を重視する傾向がある様です。例えば服を買うときには、服そのものではなく、「店員と話をしながら自分に合った服を見つける」という購買体験を求めていることが多い様です。「自分らしさ」の尊重がベースにあるため、「心を動かされること」や「居心地がよい時間」を大切にしていると言えるでしょう。

そんな Z 世代の方たちを新入社員として迎え入れ、気持ちよく働いて貰う為には、入社後のオンボーディングが重要だと言われています。近年は働き方改革やコロナ禍の影響に

より、WEB 研修やテレワーク勤務を基本とする企業が増えています。業務効率化のメリットがある一方で、入社した実感を得にくい、あるいはコミュニケーションが取りにくいと感じている新入社員もいるかもしれません。繋がりを重視し、他社にどう見られているかを気にする Z 世代の方たちには、歓迎の気持ちを表現する事が効果的と言われています。中には、メッセージカードや企業のオリジナルグッズなどが入った「ウェルカムボックス」を入社前にサプライズで届ける企業もあるそうです。ウェルカム感を演出し、安心感や連帯感を抱いてもらうことが大切です。

Z 世代の新入社員を受け入れる企業の経営者の方々、Z 世代の新人を立派な社会人として成長させていく為には、一方的に指示を出すのではなく、コミュニケーションを取りながら、彼らは日常的に多様な情報を収集し、自分の考えをオープンにすることに慣れている為、同じ目線に立って意見を求めることで、思いもよらない観点やアイデアを出させて上げることも大事な事かもしれないですね。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。